

1919

対象疾患	ループス腎炎
使用する治験薬	Secukinumab（抗 IL-17A 抗体）〈注射薬〉
治験デザイン	<p>第 III 相試験</p> <p>A 群：Secukinumab</p> <p>B 群：プラセボ</p> <p>※ 医師や患者さんがどの群の治療を受けるかは選択できませんが、A 群または B 群のいずれかの治療を受けることになります。</p> <p>※ 「プラセボ」とは、治験薬と色や形が同じですが、有効成分は入っていません。プラセボと治験薬をそれぞれ使って、治験薬による効果と、プラセボを飲んだことによる心理的な効果を比べて、治験薬が本当に有効なものかを客観的に評価します。</p>
参加いただける患者さんの条件	<p>以下の条件を満たす方が対象となります。</p> <p>1) 18 歳～75 歳の成人男女</p> <p>2) 活動性ループス腎炎の方</p> <p>※ 上記の条件は概要であり、これらに該当していても参加できないことがあります。</p>
治験責任医師	腎臓内科 坂井 宣彦
治験依頼者	ノバルティス ファーマ株式会社
備考(企業 HP 等)	